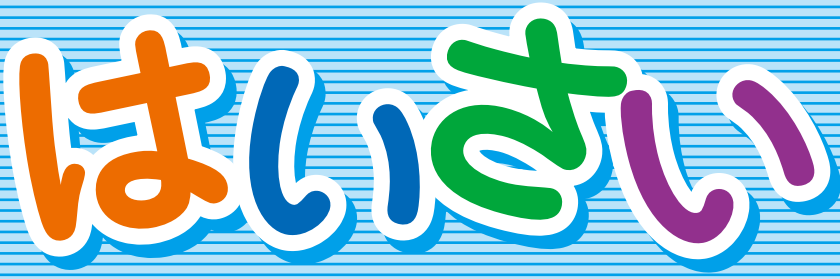


《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。

《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。



入職あいさつ



脊椎脊髄外科
医長
まえがわ たつ や
前川 達哉

2025 年 4 月より入職し、「脊椎脊髄外科」を新たに立ち上げました。脳神経外科医ですが、脊椎脊髄疾患を専門に診療いたします。
2012 年から 2 年間、初期臨床研修医として沖縄協同病院に所属しておりました。その後は東京女子医科大学 東医療センター 脳神経外科に入局し、専門医 / 指導医を取得後は、脊椎脊髄外科を専門とし、亀田総合病院（千葉県）などで診療に携わりました。
脊椎脊髄外科と聞いても馴染みがないかもしれません。

大雑把に言えば、“背骨”に関する専門家です。頸椎症や脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア、脊髄損傷、圧迫骨折、坐骨神経痛、しびれなどなど、“背骨”に関する疾患、症状などをご相談ください。
また沖縄ではまだあまり浸透しておりませんが、完全内視鏡下脊椎手術(FESS)も開始する予定です。適応があれば、従来の手術方法よりはるかに身体の負担が少なくなります。ご興味がある方、自分の症状が「背骨かな?」と感じた方は、ぜひ一度「脊椎脊髄外科」外来受診をお願いします。

新入職員セレモニー



職 種	人 数	職 種	人 数
研修医	10	管理栄養士	1
薬剤師	2	公認心理士	1
看護師	6	医療事務	2
助産師	2	医師事務作業補助者	5
臨床検査技師	1	合計	31
臨床工学技士	1		



初期研修医
ほか ま た く み
外間 匠

本日より沖縄協同病院の新入職員として皆様とともに働かせていただけることを大変光栄に思います。
4 月 1 日からの 1 週間、沖縄医療生協ならびに沖縄民医連からオリエンテーションを受け、そこで、沖縄医療生活協同組合の歴史やこれまでの医療活動について学び、大変素晴らしい取り組みを行っていることを改めて認識することが出来ました。
これからその一員となるべく新入職員一同、日々研鑽を積んでいき、やる気と誠意をもって患者さんに寄り添い、地域の皆様の健康な暮らしを守っていきたいと思っております。
今はまだ右も左もわからず、何かとご迷惑をおかけすることと思いますが、一日も早く戦力となれますよう頑張っておりますので、温かいご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。



リエゾンセンター
公認心理士
やま の は な み
山入端 奈未

このたび、リエゾンセンターにて公認心理士として入職しました山入端奈未と申します。
みなさまに温かく迎えていただき、とても心強く感じています。
これからの日々の中で、みなさまと一緒に働きながら、仕事のことはもちろん、病院の雰囲気やみなさまがお仕事の中で大切にされていることなど学んでいきたいと思っています。
まだ分からないことも多いですが、一つ一つ丁寧に取り組み、早く皆様のお力になれるよう頑張ります。
どうぞこれから宜しくお願い致します。

病院の 活動状況
<2025年3月度>

- ・ 外来一日平均患者数：292人（前年同月比 -9人）
- ・ 入院一日平均患者数：265人（前年同月比 +11人）
- ・ 組合員利用分量(率)：59.7%（前年同月比 +7.3%）

リハビリ科紹介

219 リハビリ科より



組合員の皆様、こんにちは。今月はリハビリテーション科から急性期病院でのリハビリについてお話ししたいと思います。

入院中の患者さんに「リハビリしましょう」とお声かけすると、「今はリハビリなんてできる状態じゃない。もっと元気になるってから」と断られることがあります。
もちろん、治療のために安静にしていることが必要な場合がありますが、リハビリのスタッフが声をかけるのは、主治医がリハビリ可能な状態であると判断した上でのことです。
ベッドで寝たきりの状態であると、1日で2%、1週間で10〜15%の筋量が減少すると言われていています。
まずはベッドの上で、関節が固まらないように手足を曲げ伸ばしたり、床ずれができないように姿勢を整えたりするところから始めていきます。可能であれば、ベッドの上でできる筋力トレーニングを行ったり、座る練習や、立ち上がる練習などを行い、歩く練習へと進んでいきます。入院中の患者さん一人一人の状態にあわせて、内容や、負荷の強さを変えてリハビリを実施します。
また、なるべく早く安全にご飯を口から食べられるように、飲み込みの評価を行っていきます。その際、とろみのついた水分や細かく刻んだ食事が最初に出されることもありですが、安全に食事ができることが確認できれば少しずつ元の形のある食事にレベルアップしていきます。上半身を少し倒した状態にして食べていただくなど、姿勢を調整することも安全に食事を行うための工夫の一つです。
一方、入院後も自分の身の回りのことができる状態であれば、リハビリの適応にならないこともあります。その場合はご自身でベッドの上で手足を曲げ伸ばしたり、病棟の中を散歩したりしながら、入院前の状態を維持するように心がけてください。
以上、急性期病院でのリハビリについて簡単にご説明させていただきました。
それでは皆様、暑くなってくる時期かと思いますが、体調に気をつけてお過ごしください。
リハビリ科 喜久村 かおり

看護部Instagramを開設しました！

はいさいをご覧の皆さん、Instagram(インスタグラム)ってご存じですか？「聞いたことはあるけど、実はよくわからない…」という方も多いのではないのでしょうか。インスタグラムは、写真や動画を通して情報を発信できるアプリのことです。

最近では、若い世代の多くが、何か知りたいことがあるとまずインスタグラムで検索したり、友達とのやりとりにも使っているそうです。

そんな中、私たち沖縄協同病院看護部でも、もっと多くの若い方々に病院のことを知ってもらいたいと思い、Instagramを開設しました！



OKIKYOKANGO

インスタグラムでは、働くスタッフの雰囲気や看護教育の様子など、普段の診療だけでは見えにくい“病院の素顔”を発信しています。

ぜひ、インスタグラムのアプリをダウンロードして、お気軽にのぞいてみてくださいね。

フォローもお待ちしています！

4階病棟北 師長 伊志嶺 牧子

Instagramフォロワー 300人超え達成しました

📈 ×300

沖縄協同病院 産婦人科のInstagramを開始して約2年が経ちました。当院で出生した赤ちゃんや、産後ケアで遊びに来てくれた赤ちゃんの可愛い写真が詰まった内容になっています。当院の助産師がプロ並みの技術で撮影した写真のプレゼントはママ達に大変喜ばれています。又、院内広報誌「はいさい」でも赤ちゃんの写真を掲載していますので、多くの組合員さんの癒しになっている事と思います。

今後は赤ちゃんだけではなく当院産婦人科の情報もInstagramから発信していきます。

2025年4月より、当院は紹介受診重点医療機関となりましたが、妊娠の確認に関しては紹介状がなくても予約を取ることができますので、お気軽にご予約ください。地域住民の方が安心して利用できる産婦人科を目指しますので、今後も温かいご支援を宜しくお願いします。

4階病棟南 師長 辺土名 ひとみ

こんにちは 赤ちゃん

3月生まれ

当院で出生したBabyの写真です



新垣至琉ちゃん



仲門佳恋ちゃん



土中はるちゃん

Instagramやってます

@okikyo.sanka



私の部署のいいところ

皆様こんにちは。今回は放射線室の紹介をさせていただきます。放射線室はその名の通り放射線を使って診療や治療に役に立つ画像を提供しています。撮影するだけでなく患者さんが視覚的にわかりやすいよう3D画像なども作成しています。放射線技師は24時間在中しており、いつでも検査を受けられる環境を目指しています。

放射線と聞くと危ないイメージがあると思いますが、被ばく管理を徹底して行うことで安心して検査できるよう努めてまいります。ご不明な点等ございましたら気軽にお声掛けください。

安心・安全な放射線検査が出来るよう心掛けていきたいと思っています。

放射線室 主任 比嘉 瞬

放射線室



委員会活動報告36:虐待対策委員会

沖縄協同病院では年3回、「虐待対策委員会」を実施しています。

この委員会は医師や看護師、心理士や医療ソーシャルワーカー、事務職などで構成されています。

児童虐待や高齢者虐待、障がい者虐待、ドメスティックバイオレンス、性被害などにより、当院を受診した患者様に適切な医療を提供し、プライバシーの保護や関係する専門機関への連絡調整を行うことができるよう、対応ガイドラインの院内周知や関係部署での勉強会などを行っています。

事務局長(地域連携室) 長 原野



ハルサー だより ⑧

トマト栽培終了

今期のトマト栽培は定植後2カ月以内で約7割が黄化葉巻病という伝染病に罹った。苗は耐性種なのだが感染すると成長が遅く実付きも悪くなるので収量が激減する。今年は例年の6割の収量にとどまった。クレオメ(病原虫の天敵が住む一年草)に期待したのだが敵が多すぎた。しかし、後半に入るとクレオメも2mほどに成長し、益虫も増殖したので農薬散布の手間ははぶけた。今年はセグロウリミバエの「緊急防除」で収穫が終わっても重労働が待っている。実の処理に付いている実は全部穴を掘って埋めるか袋詰めにして口を閉めて処分しなければならぬ。9月から来期の栽培が始まるがハウスの防虫対策、定期的な農薬散布、実(パッション等)の袋掛けなどの対策が必要になる。根絶するまでは仕方ない。

さて、先日の日米関税協定でアメリカは日本にコメ、ジャガイモ、肉などの農産物を拡大輸入するよう求めている。3品とも主食とそれに値する重要な食物だ。主食を他国に頼れば不作や自然災害、大統領の不機嫌が理由で輸出停止される危険がある。そうなければ今でも食料自給率38%の日本は価格高騰どころの騒ぎではなくなる。ジャガイモは現在チップス加工用だけ(病原虫であるセンチュウを国内に入れないため)をアメリカから輸入しているという。生ジャガイモが出回ればトマトのコンラミ、ウリ類のセグロウリミバエ同様に農家は病原虫対策に苦しむことになる。まさか病原虫が入ることはしないと

思うが…。

因みに私は輸入農作物を買わない。害虫やカビ防止、長期保存のため残留性の高いポストハーベスト(収穫後農薬)処理されているからだ。

ハルサー 金城 稲子